

1月21日(火)

羊のように優しく一それともライオンのように！

聖書朗読 マタイ 11：25～30

しかし、御霊の実は..... 柔和...

ガラテヤ 5：22- 23

「優しく、親切な国家」というスローガンを覚えていますか？遡ること1988年、このスローガンは到底実現しそうにありませんでした。考えが甘かったのでしょうか。多くの人が今の社会は優しく、親切であると思っはけません。むしろ、残念ながら現在では「優しさ」は強さというよりは弱さと捉えられているのではないかと思います。

今日の聖書朗読の箇所のマタイの福音書の中で、イエス様は全てを神に委ねることができることに感謝されておられます。イエス様の権威と力が皆に示されている中、イエス様のご自身を「心優しく、へりくだっている」とおっしゃったことはどれだけ特筆すべきことでしょうか（29節）。「心優しく」あろうと奮闘する指導者はどれぐらいいるのでしょうか？あなたは心優しい人であろうと努力をしていますか？

優しさの中には非常に大きな強さが存在します！感情をコントロールし、悪意のある人に対して親切に対応する、攻撃してくる者に対して耳を傾ける、状況を悪くするのではなく、良くするために人知れず働く強さです。御霊の実の一部として、これがまさに神が私達に望んでいる姿です！求めてくる人々全てに心優しく接しておられるイエス様を見て、心をイエス様に集中させましょう。他人に対して心優しく、強くなれるよう神は私たちにチャンスを与えてくださっておられます。

讃美歌 270

祈り 親愛なる神、みことばを学び、あなた様が望まれる人になりたいと思えるようお助けください。

イエス様のお名前でお祈りします。アーメン。

ケヴィン B. レイチェル
テネシー州 ナッシュビル

1月22日(水)

黄金律

聖書朗読 マタイ18：21～35

お互いに親切にし、心の優しい人となり、神がキリストにおいてあなたがたを赦してくださったように、互いを赦し合いなさい。

エペソ 4：32

私が12歳の頃、10歳の従兄弟が冗談でこう言いました。「僕のルールは、『自分がしたいことだけをする』とか『お金を持っている人がルールを決めることができ』って言うようなんだ。」しかしイエス様は私たちにこうおっしゃられています。「何事でも、自分にしてもらいたいことは、ほかの人にもそのようにしなさい。これが律法であり預言者です。」(マタイ7：12)

今日の聖句の中の無慈悲なしもべは、あまり記憶力がよくなかったようです。このしもべは王に慈悲を乞うたあと、王から赦しを受け、借金を免除してもらいました。しかし、このしもべはしもべ仲間に対して、自分がして欲しかった（実際にしてもらった）ようには接しませんでした。

この例え話を讀んだとき、もし全ての国の全ての人々が黄金律を守って生活したらこの世の中は一体どうなるだろうと考えました。いじめ、ヘイト、戦争、腐敗、不寛容、残虐な行為がこの世からなくなったら、そんな世の中に住むとはいったいどんな感じなんでしょうか？ルイ アームストロングが歌った「この素晴らしき世界」になるのでしょうか。黄金律を本当に実践されていたお方はイエス様はただ一人です。そして私たちの中にあるイエス様の力によってのみ、私たちは黄金律を実践できるのです。

讃美歌 271

祈り ご在天のお父様、支払えない私たちの借金（罪）のため十字架にかけられた私たちの救い主について思ったとき、あなた様の無限の愛、めぐみ、そして赦しを感じることができます。黄金律を実践できるようお助けください。そして私たちがすでに受けた祝福を、他の人も受けることができますように。

イエス様のお名前によって。アーメン。

クリスティーン・アダムス
ニューメキシコ州 ホブス

1月23日(木)

癒やし以上のもの

聖書朗読 マタイ 14:22-36

彼が私たちのわずらいを身に引き受け、私たちの病を背負った。

マタイ 8:17

新約聖書を読んだことがない人でも、イエス様が水の上を歩いた話は知っています。私たちは、この偉大な奇跡に強く惹きつけられすぎて次に起きた奇跡をスルーしてしまいがちです。

湖を渡った先の街では、街中の病人がイエスのもとの連れてこられました。せめてイエス様の着物のふさにでも触らせてほしいとお願いしました。そして私たちはこの言葉を見るのです。「さわった人々はみな、いやされた。」

確かに、多くの人々が再現し、説明しようとした水の上を歩くことは大きな奇跡です。しかし、着物のふさを触っただけでその人々を癒やしたという事実もまた驚くべきことです。今の人たちは、健康のためや、病気の治療のために必死になります。キリストに従うものである私たちは、水の上を歩き、そして癒やし以上のものを与えた御方からくる希望を持っています。イエス様は一時的な癒やし以上のもの(永遠の命)をお約束してくださっておられます。

讃美歌 267

祈り 親愛なる主よ。この手で、この心であなた様に触れたとき、私の魂を癒やしてください。あなた様を求めて日々暮らしているとき、あなたさまの命と強さで私を満たしてください。

イエス様のお名前によってお願いいたします。アーメン。

ロドニー・トーマス
テキサス州 ラボック

1月24日(金)

邪魔

聖書朗読 マルコ1:12~28

すると、すぐにまた、その会堂に汚れたつかれた人がいて、叫んで言った。「ナザレの人イエス。あなたは私たちを滅ぼしに来たのでしょうか。私はあなたがたがどなたか知っています。神の聖者です。」

マルコ1:23-24

私はA型の性格の持ち主です。TO DO リストを作り、すべての物が正しい場所に収まらないと気が済みません。邪魔が入ると、私は集中力を失い、冷静でもいられなくなります。そして、その邪魔のことで頭が一杯になってしまいます。イエス様はそうではありません。悪霊(サタン)がイエス様に叫んだとき、イエス様は会堂で教えておられました。イエス様はすぐにその状況を納め、教えに戻られました。イエス様はその教えだけでなく、悪霊を追いやった権威で人々を驚かせました。

悪霊はイエス様とイエス様の力を知っていたので、イエス様に憐れみをこいました。私達もイエス様に憐れみを求めて大声で叫んでいますか？

ダニエルは、神の憐れみを知っていたので、神に大声で助けを求めることができました。(ダニエル書9:18)

詩篇28篇6節では、神は私たちの願いの声を聞かれたと書いてあります。

マリヤがエリサベスの家で、イエス様のあわれみは世々に及ぶと言いました(ルカ1:50)。

私たちは、神がどういう御方で、神の力を正しく理解しているのでしょうか？今日の私達にはどのように神のあわれみが必要でしょうか？私達には、神が聞いてくださることを知っています。ですから大声で叫びましょう。

讃美歌 II 167

祈り 親愛なる主、試みにあつたとき、恐れを感じたとき、時間を取ってあなた様に向かって大声で助けを求めることができるようお助けください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ゲイネル・トーマス
ニューメキシコ州 ポータルス

1月25日(土)

最悪、イライラする日！

聖書朗読 マルコ6：30～36

私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情できない方ではありません。罪は犯されませんでした。すべての点で、私たちと同じように、試みに会われたのです。

ヘブル 4：15

その日も今日のタイトルのような一日でした。全てに時間がかかり、ほとんどがうまくいきませんでした。大切なプロジェクトに取り掛かっているときにインターネットがダウンしてしまいました。夕食の準備を始めたそのときに、料理に必要な牛乳がほとんどないことに気が付きました。冷蔵庫のドアを急いで閉め、コンロの火を消して、急いでお店に買いに走りました。やっと寝る時間になっても、眠くなる代わりに、その日の出来事が思い出され、怒りが沸き起こってきました。なんて日なのでしょう！

イエス様も周りが騒がしい日を過ごしていました。弟子たちもイエス様に一日の出来事、良かったこと、がっかりしたことを聞いて欲しいと思っていました。イエス様は彼らに、寂しいところへ行きなさいとおっしゃいました。(31節)しかし、イエス様と弟子たちには、多くの人々が集まり、彼らが出ていくのを見て、それに気づいて先回りしてイエス様を待ちました。そこには「ひとりの時」はなく、ゆっくりする時間を持つことは出来ませんでした。しかし、イエス様と弟子たちはそれを受け入れました。

別の日、イエス様は病気の子供を癒やしに行く途中で呼び止められました。ある女性がイエス様の服に触れました。イエス様が彼女にお話をされている間に、イエス様の任務は癒やすことから生き返らすことへと変わりました。

イエス様と弟子たちも、私たちと同じように忙しすぎたり、物事が予定通りに進まなかったことが今日の聖書の箇所にかかれてあります。イエス様と弟子たちがそのような経験をしたからこそ、私たちのイライラする気持ちを理解してください。ストレスがある時、イライラするときこそ、もうだめだとギブアップするのではなく、神様に祈り、心を静めて一呼吸おき、イエス様に全てを委ね、恵みに感謝し乗り越えて行きましょう。

讃美歌 238

祈り 聖なる神、最悪で、不愉快極まりなく、イライラする日を理解してください。感謝いたします。このような日は、イエス様のくださっためぐみで乗り越えられるようお助けください

イエス様のお名前によって。アーメン。

コニー・S・スティネット
オクラホマ州 ターレカ

1月26日(日)

2つの奇跡

聖書朗読 ルカ 6：45～52

人々はみな、ひどく驚き、神をあがめ、恐れに満たされて、「私たちは、きょう、驚くべきことを見た。」
ルカ5：26

今日の聖句は、実際は2つの奇跡についての話だったため、弟子たちがどちらに驚いたかはわかりません。弟子たちが心から驚いた(51節)と書いてありますが、マルコはどちらにとははっきりとは書いていません。弟子たちはイエス様が水の上を歩いたから驚いたのでしょうか？それとも、イエス様が風をとめた事実にてでしょうか？イエス様が水の上を歩いたという奇跡は否定することはできませんが、常に天候のなすがままである漁師にとって、天候をもコントロールしたことは本当に大きな驚きであつたでしょう。

私たちの生活の中で、主は主の働きの中で、一つ以上の奇跡を見せてくださることがあります。例えば、私たちの祈りに応えてくださるとき、主は祈りに応えてくださったということ、そして主は本当に私たちの祈りを聞いてくださったということ、聖霊が私たちに元気づける言葉をかけたり、励ましに行くよう促し、そしてその行いが実ったとき、私たちは、前向きな結果と、そして御霊が私たちの中で働いてくださったという確証という2つの祝福を受けることとなります。私たちは弟子たちと同じように、日々神のみわざを目撃します。私は本当に驚きます。そして弟子たちと同じように、どのめぐみが一番すごいのか私たちには決められないでしょう。

讃美歌

II 57

祈り

親愛なる神、あなたのみわざ全てに驚きます。私の目を開いてあなたのみわざを見ることが出来ますように。そして聖霊の力によって私の命をお使いください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ジョシュ・ボイド
インディアナ州 ラファイエット